学校災害対応マニュアル概要版

１事前の危機管理（備える）

①体制整備と備蓄
ア 学校防災委員会の設置及び保護者や地域、自治体等と連携した体制づくり
イ 災害対応マニュアルの見直し
ウ 情報・連絡体制の整備
エ 備品・備蓄

②点検
ア 学校施設、設備、避難経路、避難場所等の点検・整備
イ 防災上必要な用品等の点検・整備

③指導(避難訓練等)
ア 主体的な対応行動をはぐくむ実践的な防災教育の実施

④その他(教職員研修等)
ア 事前・発生時・事後の三段階の危機管理に対応した校内研修

改訂項目
ア「二次災害の洗い出し(例)」「非構造部材点検項目(例)」「避難経路・避難場所の点検(例)」「避難訓練(例)」「研修内容(例)」等、具体的な取組み例を新たに追加

２発生時の危機管理（命を守る）

地震発生

学校管理下

管理外

① 校　内
ア 授業中の対応（普通教室・理科室・家庭科室・図書館・体育館・校庭・プール）
イ 給食時・休憩時における対応
ウ 特別支援学校における対応

② 校　外
ア 基本的な対応
イ 遠足、社会科見学等における対応

③ 登下校時
ア 基本的な対応
イ 地震発生時における対応
ウ スクールバス運行マニュアル

震度５弱以上想定

改訂項目
ア児童生徒等の状況に応じた主体的な対応行動の原則として、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所への避難を追記
イ 対応のスタートとして、地震発生前の「緊急地震速報受信」について項目を追加
ウ 「二次災害からの避難の決定と指示」について停電時の想定を追記
エ 「二次対応」の留意点として、建物の耐震状況や発生時の天候等、避難場所設定の具体的視点について追記

３事後の危機管理（立て直す）

対策本部設置
ア設置指針(例)
イ学校災害対策本部の組織
ウ 各班の対応

①安否確認
ア 動員体制と安否確認(例)
イ 安否確認の方法

②引渡し(待機)
ア 引渡しの手順及び引渡しカード(例)

③避難所開設・運営の支援
ア収容避難所開設までの協力・支援
イ収容避難所開設・運営の協力・支援

④心のケア
ア 心身の健康問題の組織的な進め方(例)

⑤原子力災害等
ア 基本的な対応

改訂項目
ア ①②④⑤の項目を新たに追加

４ その他（参考）

①情報連絡体制
②報道機関対応マニュアル
③災害用伝言ダイヤル
④地震10箇条

本マニュアルは、地震災害を想定した災害対応マニュアルの作成例であり、各市町村、各学校が、地域の特性や学校の実情に応じたマニュアルを作成する際に、活用するために作成したものである。